

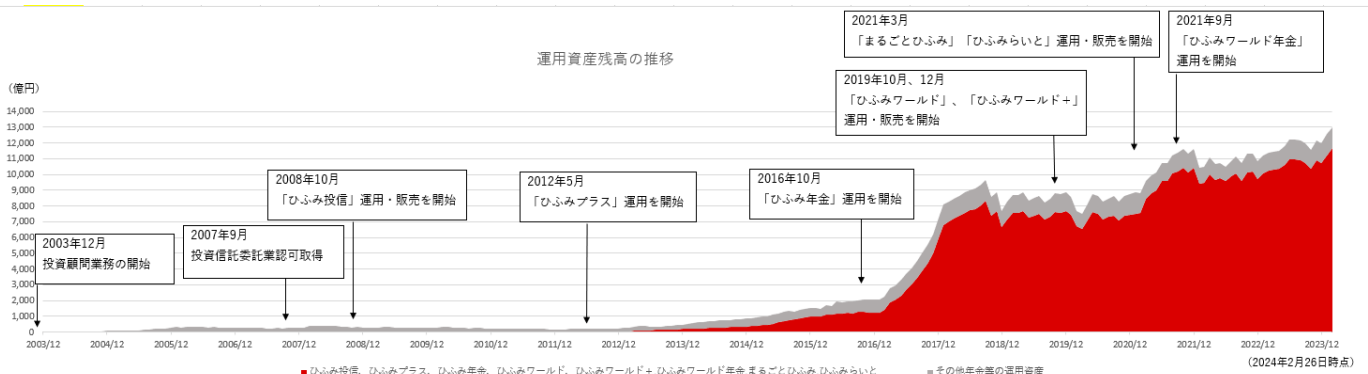
## レオス・キャピタルワークス 運用資産残高 1.3 兆円突破のお知らせ

2024年2月26日

レオス・キャピタルワークス株式会社

投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、東証グロース：7330）は、2024年2月26日、投資信託「ひふみ」シリーズと国内外の年金基金運用等の合計である運用資産残高が概算で1.3兆円を突破いたしましたので、お知らせいたします。

### ■運用資産残高 1.3 兆円突破までの推移■



レオス・キャピタルワークスは「資本市場を通じて社会に貢献します」を経営理念として2003年4月に創業し、「ひふみ」シリーズの運用・販売を行なってまいりました。多くの方に支えていただいた結果、このたび運用資産残高1.3兆円を突破することができました。投資を通じて多様な価値観が混ざり合い、ゆるやかにつながりあう、「幸せな循環」を作りたいという私たちの理念に共感し、「ひふみ」で資産形成をしてくださっているお客様、そして販売パートナーならびに取引先の皆様に心より御礼申し上げます。

日本は今、長く続いたデフレからインフレへの転換期と考えられ、また2024年2月22日には日経平均株価が史上最高値を更新するというマーケット環境の中で投資への関心やニーズがさらに高まると考えられます。2024年1月より新NISAがスタートし、貯蓄から投資への流れが加速する期待もかかります。そのような中、ひふみシリーズに「pro」シリーズ第1弾として新たにファンド設定することといたしました。国内の小型株を主

ニュースリリース

報道関係各位

な投資対象とした「見えない価値を見つける」アクティブファンドです。



新規設定ファンド「ひふみマイクロスコープ pro」の詳細は[こちら](https://hifumi.rheos.jp/information/news/2024/20240216.html)をご確認ください。

<https://hifumi.rheos.jp/information/news/2024/20240216.html>

2008年10月に運用を開始し、主に日本の成長企業に投資する「ひふみ投信」の基準価額が7万円を突破し、2024年2月5日時点で70,112円、純資産総額は169,030,545,631円となりました。2019年10月に運用を開始した海外の成長企業に投資する「ひふみワールド」の基準価額が2万円を突破し、2024年2月5日時点で20,043円、純資産総額は50,609,132,131円となりました。

今後も金融サービスの恩恵を全ての人々が享受できる世界の実現を目指し、そして多様化する投資ニーズにお応えすべく、私たちの運用力・販売力・発信力を生かした商品のご提供と情報発信に取り組んでまいります。

「投資」とは、志のあるお金が、志のある会社を応援して、社会を根っこから元気にしていき、幸せな循環を動かすエンジンになるものです。「ひふみ」シリーズがお客様のご要望や不安に応えることのできる資産形成・金融商品のスタンダードに、そして未来を育む国民ファンドとなり皆様の資産形成に長く寄り添えるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

これまでと同様に変わらぬご愛顧やご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

##### 価格変動リスク

国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。

##### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

##### 信用リスク

有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。

#### 為替変動リスク

外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。

#### カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）

当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートのかな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■お客様の負担となる費用について

##### ◆お客様に直接ご負担いただく費用

- ・ 購入時手数料 上限 3.30%（税抜 3.00%）※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。 ※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
- ・ 換金（解約）時手数料・信託財産留保額 ありません。

##### ◆お客様に間接的にご負担いただく費用

- ・ 信託報酬 信託財産の純資産総額に対して 上限 年率 1.6280%（税抜 1.4800%）
- ・ 監査費用 信託財産の純資産総額に対して 年率 0.0055%（税抜 0.005%）以内を乗じて得た額
- ・ その他の費用 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

##### ◆ご注意

- ・ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。

ニュースリリース

報道関係各位



当社が直接販売する投資信託の詳細情報の照会先：コミュニケーション・センター 03-6266-0123（受付時間 営業日の9時～17時） <https://hifumi.rheos.jp/>

■報道関係よりのお問い合わせ先■

レオス・キャピタルワークス株式会社 広報部 数原（すはら）、池田

Tel: 03-6266-0124 mail: [pr@rheos.jp](mailto:pr@rheos.jp) 〒100-6227 東京都千代田区丸の内1-11-1 PCP 丸の内27F

企業サイト：<https://www.rheos.jp> 商品サイト：<https://hifumi.rheos.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号 加入協会:一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会